

2021年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社 TRUCK - ONE
 コード番号 3047 URL <http://www.truck-one.com>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 雄也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 真崎 高利

TEL 0833-44-1100

定時株主総会開催予定日 2022年3月18日 配当支払開始予定日 2022年3月22日

有価証券報告書提出予定日 2022年3月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	5,997	26.5	85	143.1	98	114.6	69	198.4
2020年12月期	4,740	3.1	35	10.2	45	10.2	23	46.6

(注) 包括利益 2021年12月期 70百万円 (223.4%) 2020年12月期 21百万円 (50.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利 益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	28.90		9.6	2.1	1.4
2020年12月期	9.69		3.4	1.2	0.7

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 百万円 2020年12月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	4,712	754	16.0	314.39
2020年12月期	4,540	695	15.3	289.98

(参考) 自己資本 2021年12月期 754百万円 2020年12月期 695百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	345	265	62	550
2020年12月期	432	871	501	408

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期		2.50		2.50	5.00	11	51.6	1.7
2021年12月期		2.50		2.50	5.00	11	18.7	1.7
2022年12月期(予想)		2.50		2.50	5.00		24.0	

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,900	2.8	30	27.5	35	24.1	25	11.8	10.42
通期	6,000	0.0	60	30.0	70	29.1	50	27.9	20.84

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期	2,552,000 株	2020年12月期	2,552,000 株
期末自己株式数	2021年12月期	153,100 株	2020年12月期	153,100 株
期中平均株式数	2021年12月期	2,398,900 株	2020年12月期	2,398,900 株

(参考)個別業績の概要

2021年12月期の個別業績(2021年1月1日～2021年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	4,605	13.9	51	95.5	68	9.4	46	2.6
2020年12月期	4,042	2.9	26		62	475.4	47	35.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	19.18	
2020年12月期	19.68	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年12月期	4,136		699		16.9		291.79	
2020年12月期	4,009		666		16.6		277.78	

(参考) 自己資本 2021年12月期 699百万円 2020年12月期 666百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種が進み、景気に持ち直しの動きがみられるものの、新たな変異株の発生により未だ感染再拡大のリスクは解消されず、依然として先行きは不透明な状況が続いております。このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、半導体不足等の影響により、新車の生産量の減少や、納車の遅れが発生し、中古車の需要が拡大したことにより増収増益となりました。運送関連事業につきましても、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が行っており、売上高は横這いであるものの、車両の入れ替えに伴う費用の増加や原油価格の高騰の影響等により、増収減益となりました。

以上の結果、当連結会計年度の経営成績としては、売上高5,997,535千円（前期比26.5%増）、営業利益85,712千円（前期比143.1%増）、経常利益98,684千円（前期比114.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益69,337千円（前期比198.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

① 商用車関連事業

半導体不足等の影響で中古車の需要が拡大し、国内での販売は堅調に推移いたしました。海外での販売においては、依然、新型コロナウイルス感染症やコンテナ不足等の影響により伸び悩んでいるものの、行動規制の緩和等、僅かばかり持ち直してきたことにより、商用車関連事業の売上高は5,193,930千円（前期比30.3%増）、セグメント利益は69,113千円（前期比129.3%増）となりました。

② 運送関連事業

車両の入れ替えに伴う費用の増加や、原油価格の高騰、また、原油価格高騰分の価格転嫁が図れなかったことにより、売上高は803,605千円（前期比6.8%増）、セグメント利益は14,280千円（前期比52.4%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の状況)

当連結会計年度末の資産合計は4,712,811千円となり、前連結会計年度末に比べ172,387千円の増加となりました。このうち流動資産は102,225千円増加して2,882,686千円となりました。主な要因は現金及び預金が142,504千円増加し、商品及び製品が33,120千円、受取手形及び売掛金が10,331千円減少したことによるものです。また固定資産は70,162千円増加して1,830,125千円となりました。主な要因は賃貸用資産が31,808千円、機械装置及び運搬具が36,806千円増加したことによるものです。

(負債の状況)

負債合計は3,958,616千円となり、前連結会計年度末に比べ113,823千円の増加となりました。このうち流動負債は120,062千円増加して2,940,936千円となりました。主な要因は、短期借入金150,000千円、未払金が16,612千円、未払法人税等15,545千円増加し、支払手形及び買掛金が104,022千円減少したことによるものです。また固定負債は6,238千円減少して1,017,680千円となりました。主な要因はリース債務が4,027千円、長期借入金が2,688千円減少したことによるものです。

(純資産の状況)

純資産合計は754,195千円となり、前連結会計年度末に比べ58,564千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が57,343千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ142,503千円増加し、550,605千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度では、営業活動により増加した資金は345,589千円（前年同期は432,623千円の資金増加）となりました。主な要因は、減価償却費220,515千円の計上、売上債権53,155千円の減少による資金の増加及び仕入債務96,839千円の減少による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度では、投資活動により減少した資金は265,157千円（前年同期は871,061千円の資金減少）となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出261,495千円の資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度では、財務活動により増加した資金は62,071千円（前年同期は501,995千円の資金増加）となりました。主な要因は、短期借入金による収入150,000千円による資金の増加及びリース債務73,279千円の返済による資金の減少であります。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、景気の不透明感が続く予想され、当社グループにつきましても厳しい状況が続くものと見込まれます。当社は、多種多様な車両の在庫を取り揃えておりますが、新車の登録数の減少やメーカーの在庫調整による中古車市場全体の車両の取扱量が逡減した場合には、良質な中古車両を確保することが難しくなり、販売機会を損なうおそれがあります。このような状況に対応していくために、リース・レンタル事業に注力し、リースアップ・レンタアップ車両を数多く中古車市場へ送り出して販売機会の増加を図ってまいります。

また、国内の人口減少による物流業界の縮小も考えられます。人口減少による労働力不足は貨物輸送量の減少に繋がり、当社の事業用車両の販売事業や子会社の運送関連事業にも大きな影響を与えます。しかし、日本の市場の縮小が進むいっぽうで、海外の市場にはまだまだビジネスチャンスがあると考えております。新たに子会社化いたしましたSUN AUTO株式会社の持つ東南アジアの販売網と当社の強みである輸出用車両の仕入れをプラスすることで、シナジーを発揮することが期待でき、各国の規制や商習慣に対応するノウハウなどを得ることが可能となりました。今後は、従来の国内市場に加え、東南アジアを中心とした海外への輸出に関しても力を入れていく方針であります。

このような状況を踏まえ、次期の当社グループの業績見通しにつきましては、売上高6,000,000千円、営業利益60,000千円、経常利益70,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益50,000千円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在のところ国内を中心として事業を展開しているため、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。なお、国際会計基準の適用につきましては、今後の当社グループを取り巻く事業環境の変化や国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	428,127	570,631
受取手形及び売掛金	290,360	280,028
商品及び製品	1,996,993	1,963,872
原材料及び貯蔵品	3,606	9,170
その他	62,882	60,431
貸倒引当金	△1,509	△1,448
流動資産合計	2,780,460	2,882,686
固定資産		
有形固定資産		
貸貸用資産	335,889	419,777
減価償却累計額	△100,465	△152,544
貸貸用資産(純額)	235,423	267,232
建物及び構築物	250,926	261,510
減価償却累計額	△172,120	△180,734
建物及び構築物(純額)	78,805	80,775
機械装置及び運搬具	1,068,641	1,139,308
減価償却累計額	△753,602	△787,463
機械装置及び運搬具(純額)	315,038	351,844
土地	958,316	961,744
建設仮勘定	—	811
その他	35,377	36,775
減価償却累計額	△26,056	△29,282
その他(純額)	9,320	7,492
有形固定資産合計	1,596,905	1,669,902
無形固定資産		
のれん	53,405	47,927
その他	5,136	3,758
無形固定資産合計	58,541	51,686
投資その他の資産		
投資有価証券	26,691	28,542
敷金及び保証金	22,106	23,196
繰延税金資産	20,932	20,462
その他	34,786	36,336
投資その他の資産合計	104,517	108,537
固定資産合計	1,759,963	1,830,125
資産合計	4,540,424	4,712,811

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,060,434	956,411
短期借入金	1,450,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,688	2,688
リース債務	65,772	55,921
未払金	179,893	196,506
未払法人税等	5,746	21,291
賞与引当金	1,130	1,043
その他	55,207	107,073
流動負債合計	2,820,873	2,940,936
固定負債		
社債	250,000	250,000
長期借入金	606,640	603,952
リース債務	97,787	93,759
繰延税金負債	29,123	28,905
退職給付に係る負債	40,068	40,763
その他	300	300
固定負債合計	1,023,919	1,017,680
負債合計	3,844,793	3,958,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	570,465	627,808
自己株式	△14,481	△14,481
株主資本合計	698,664	756,008
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,033	△1,813
その他の包括利益累計額合計	△3,033	△1,813
純資産合計	695,630	754,195
負債純資産合計	4,540,424	4,712,811

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	4,740,115	5,997,535
売上原価	4,156,278	5,289,617
売上総利益	583,837	707,918
販売費及び一般管理費		
発送運賃	30,218	50,234
広告宣伝費	2,407	3,000
貸倒引当金繰入額	60	△60
役員報酬	66,570	69,130
給料及び手当	137,198	153,339
賞与	21,675	30,554
賞与引当金繰入額	197	139
退職給付費用	5,588	6,569
福利厚生費	37,760	41,552
旅費及び交通費	12,765	13,411
通信費	8,281	8,838
減価償却費	18,355	25,561
租税公課	6,274	9,920
賃借料	47,936	53,229
支払手数料	47,662	35,732
支払報酬	22,300	23,453
のれん償却額	1,369	5,477
その他	81,961	92,122
販売費及び一般管理費合計	548,584	622,206
営業利益	35,252	85,712
営業外収益		
受取利息	96	1,105
受取配当金	878	925
受取保険金	862	3,027
保険解約返戻金	695	788
補助金収入	17,358	8,663
鉄板売却益	319	575
その他	4,820	8,598
営業外収益合計	25,031	23,684
営業外費用		
支払利息	7,716	10,304
社債発行費	5,770	—
その他	812	408
営業外費用合計	14,299	10,712
経常利益	45,984	98,684

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
税金等調整前当期純利益	45,984	98,684
法人税、住民税及び事業税	21,102	29,722
法人税等調整額	1,641	△376
法人税等合計	22,744	29,346
当期純利益	23,239	69,337
親会社株主に帰属する当期純利益	23,239	69,337

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	23,239	69,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,421	1,220
その他の包括利益合計	△1,421	1,220
包括利益	21,818	70,558
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	21,818	70,558
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	97,725	44,955	559,220	△14,481	687,420	△1,612	△1,612	685,807
当期変動額								
剰余金の配当			△11,994		△11,994			△11,994
親会社株主に帰属する当期純利益			23,239		23,239			23,239
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,421	△1,421	△1,421
当期変動額合計	—	—	11,244	—	11,244	△1,421	△1,421	9,823
当期末残高	97,725	44,955	570,465	△14,481	698,664	△3,033	△3,033	695,630

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	97,725	44,955	570,465	△14,481	698,664	△3,033	△3,033	695,630
当期変動額								
剰余金の配当			△11,994		△11,994			△11,994
親会社株主に帰属する当期純利益			69,337		69,337			69,337
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,220	1,220	1,220
当期変動額合計	—	—	57,343	—	57,343	1,220	1,220	58,564
当期末残高	97,725	44,955	627,808	△14,481	756,008	△1,813	△1,813	754,195

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	45,984	98,684
減価償却費	185,582	220,515
のれん償却額	1,369	5,477
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	60	△60
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,406	△86
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4,573	694
固定資産除却損	—	0
受取利息及び受取配当金	△975	△2,031
支払利息	7,716	10,304
社債発行費	5,770	—
補助金収入	△17,358	△8,663
売上債権の増減額 (△は増加)	△27,837	53,155
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△190,510	24,451
未収入金の増減額 (△は増加)	△8,449	18,204
仕入債務の増減額 (△は減少)	502,879	△96,839
未払金の増減額 (△は減少)	7,710	△86
未払費用の増減額 (△は減少)	7	6,151
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△2,276	△15,035
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△20,414	48,531
その他	△2,712	△4,009
小計	480,565	359,355
利息及び配当金の受取額	975	2,031
利息の支払額	△6,758	△10,283
補助金の受取額	17,358	8,663
法人税等の支払額	△59,517	△14,177
営業活動によるキャッシュ・フロー	432,623	345,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△272,527	—
固定資産の取得による支出	△600,842	△261,495
貸付けによる支出	△784	△329
貸付金の回収による収入	269	328
その他の支出	△2,422	△4,250
その他の収入	5,247	590
投資活動によるキャッシュ・フロー	△871,061	△265,157

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△250,000	150,000
長期借入れによる収入	580,000	90,000
長期借入金の返済による支出	△672	△92,688
割賦債務の返済による支出	△1,408	—
リース債務の返済による支出	△52,614	△73,279
社債の発行による収入	238,652	—
配当金の支払額	△11,961	△11,961
財務活動によるキャッシュ・フロー	501,995	62,071
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	63,558	142,503
現金及び現金同等物の期首残高	344,543	408,101
現金及び現金同等物の期末残高	408,101	550,605

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて

新型コロナウイルス感染症について、今後の収束時期等を正確に予想することは困難な状況にあります。当社では、このような状況を踏まえ繰延税金資産の回収可能性の判断や減損損失の判定を行っております。なお、現時点で当社の業績に与える影響は軽微と考えていますが、不確定要素が多く、さらに長期化、深刻化した場合に業績への影響が増加する可能性があります。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業本部を基礎としたサービス別セグメントから構成されており、「商用車関連事業」及び「運送関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「商用車関連事業」は、事業用車両の販売・買取及びレンタル等を行っており、「運送関連事業」は、一般貨物の運送や車両の陸送等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,987,647	752,468	4,740,115	—	4,740,115
セグメント間の内部売上高 又は振替高	188,890	52,983	241,874	△241,874	—
計	4,176,538	805,452	4,981,990	△241,874	4,740,115
セグメント利益	30,147	30,025	60,172	△24,920	35,252
セグメント資産	3,841,348	679,918	4,521,266	19,157	4,540,424
その他の項目					
減価償却費	96,368	93,206	189,574	△3,992	185,582
のれんの償却額	1,369	—	1,369	—	1,369
のれんの未償却残高	53,405	—	53,405	—	53,405
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	790,136	232,542	1,022,679	△10,233	1,012,445

(注) 1 セグメント利益の調整額24,920千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント資産の調整額19,157千円は、セグメント間取引消去であります。

4 減価償却費の調整額△3,992千円は、セグメント間取引消去であります。

5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△10,233千円は、セグメント間取引消去であります。

当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,193,930	803,605	5,997,535	—	5,997,535
セグメント間の内部売上高 又は振替高	166,495	53,770	220,266	△220,266	—
計	5,360,425	857,376	6,217,802	△220,266	5,997,535
セグメント利益	69,113	14,280	83,393	2,318	85,712
セグメント資産	3,978,188	720,810	4,698,998	13,812	4,712,811
その他の項目					
減価償却費	128,119	97,868	225,987	△5,472	220,515
のれんの償却額	5,477	—	5,477	—	5,477
のれんの未償却残高	47,927	—	47,927	—	47,927
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	264,995	102,638	367,634	△3,828	363,806

(注) 1 セグメント利益の調整額2,318千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント資産の調整額13,812千円は、セグメント間取引消去であります。

4 減価償却費の調整額△5,472千円は、セグメント間取引消去であります。

5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△3,828千円は、セグメント間取引消去であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年1月1日 至 2020年12月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：千円）

日本	東南アジア	合計
5,259,053	738,482	5,997,535

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

セグメント情報に同様の記載を開示しているため注記を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)		当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	
1株当たり純資産額	289円98銭	1株当たり純資産額	314円39銭
1株当たり当期純利益	9円69銭	1株当たり当期純利益	28円90銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 算定上の基礎

1 1株当たり当期純利益金額

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	23,239	69,337
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	2,398,900	2,398,900

2 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	695,630	754,195
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	695,630	754,195
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	2,398,900	2,398,900

(重要な後発事象)

該当事項はありません。